

第 1605 回 天文学教室談話会

2016 年 10 月 18 日 (火) 16:30 より

東京大学理学部 1 号館西棟 11 階 1109 号室 (天文学専攻会議室) にて

“重力波天体からの電磁波放射”

田中 雅臣 (国立天文台)

2015 年、史上初めて重力波が直接検出され、「重力波天文学」が幕を開けました。また、重力波天体を電磁波で探査する観測も精力的に行われ、天体からのあらゆるシグナルを駆使する「マルチメッセンジャー天文学」が始まったとも言えます。今後は、連星中性子星合体からの重力波も検出されることが期待されています。連星中性子星合体は r-process 元素の起源としても注目されており、マルチメッセンジャー観測によって重元素の起源を明らかにすることができるかもしれません。本談話会では、連星中性子星合体から期待される電磁波放射の理論的研究と、それを捉えるための観測的研究について紹介します。